



北本市立南小学校だより

わかみどり

URL <http://minami.city.kitamoto.lg.jp>

令和8年1月号

〒364-0032

北本市緑3丁目387番地

TEL 048-591-4709

FAX 048-591-5802

学校教育目標 **みんな なかよく みどりの学校** 「かしこく げんきな 南っ子」

今年の夢は？目標は？ ～一富士・二鷹・三茄子～ 校長 酒井 一昭

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

冬休みの間、子どもたちは幸い大きな事故やけがもなく、楽しく過ごせたようです。ご家庭でのきめ細かなご指導に感謝いたします。

新しい年を迎えると、「初夢」についてよく話題になります。「初夢」は、初詣や書き初めのような新年の縁起物のひとつです。子どもの頃からわたしたちになじみがありますが、「結局、いつ見る夢？ 良い夢って何？」とはっきり知られていないことも多いと思います。ちょっと調べてみました。



初夢とは、新年を迎えて最初に眠った日に見る夢を指し、その内容で1年の吉凶を占う風習があります。一般的には元日の夜から2日にかけて見る夢とされますが、2日の夜から3日にかけての夢とする説もあります。

初夢の中で出てくる縁起の良いものは「一富士・二鷹・三茄子（いちふじ・にたか・さんなすび）」と言われます。「富士山」は「無事」とかけて「運氣上昇・末広がり・出世」を、大空を舞う「鷹」は「高く（飛ぶ）」とかけて「自由・飛躍・チャンスの到来」を、「茄子」は「成す」にかけて「実り・蓄財・子孫繁栄」を意味しているそうです。

実は、次の順番もあって「四扇（しおうぎ、よんせん）、五煙草（ごたばこ）、六座頭（ろくざとう）」なのだそうです。末広がり「扇」は「子孫繁栄・商売繁盛」、高級品であった「煙草」は立ち上る煙から「運氣上昇」を意味します。「座頭」とは、琵琶法師などの盲目の僧侶をさし、「毛が無い」を「怪我無い」とかけ、家内安全を暗示しているのだそうです。

その他にも、「宝船・七福神・へび・朝日・お金・打ち出の小槌」などがあります。「火事」は悪い夢に感じますが、「情熱的な気持ち」を投影した吉夢です。「運氣上昇・繁栄」の象徴で、燃えつきても再生の意味になります。「太る」もよい意味があるそうで、自分と登場人物、どちらかが太る場合も吉夢です。「豊かさ」と「充実」の象徴で、金運の良い年になるそうです。

江戸時代あたりから、このような「初夢」の話題が出てきたらしく、江戸時代の人々の言い伝えに、なるほど、と感心してしまいます。初夢の意味や活かし方にくわしくなって、新年の成長に役立てられるといいですね。

さて、今年一年、皆様、そしてお子様はどんな夢や目標をもたれたでしょうか。3月の修了式・卒業式まであと40日ほどです。一年のまとめをしっかりと行い、来るべき次年度の備えをするときです。夢や目標の実現に向かって欲張ることなく、こつこつと努力を続けることが大切だと思います。

授業中にがんばって発表すること、学習した漢字の読み書きや計算を正確にできるようにすること、苦手だった縄跳びや鉄棒ができるようになること、忘れ物をせずきちんと持ち物をそろえて授業に臨むことなど、身近で小さなことでも良いので、自分の目標や課題をしっかりともち、夢に向かって努力を続けて欲しいと思います。

しかし、なかなか努力しても目に見えるような成果として現れないときもあるでしょう。いやになってやめてしまおうと思うときがあるかもしれません。そんな時は、見守りつつ、励まし、支えてあげてください。子どもたちに「今は大変かもしれないけれど、これが将来の成長につながる」ということを伝えてあげてほしいと思います。

焦らず、あきらめずにこつこつと続ける大切さを小学生の時に実感して欲しいと願っています。そして、その子どもたちの応援団として、ご家族や学校が後押しを続けるのだと考えます。

改めて申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

